

平成 27 年 度

香川大学大学院医学系研究科(博士課程)

学 生 募 集 要 項

(一般選抜・社会人特別選抜)

香 川 大 学

○ 求める学生像

本学大学院医学系研究科（博士課程）は、医学の領域において、研究者として自立し、独創的な研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えるとともに、生命倫理に関し高い見識を有する研究者を育成し、もって医学の進歩と人類福祉の向上に寄与することを目的としています。

そこで、医学系研究科（博士課程）では、以下のような大学院生を求めます。

- 1 探究心旺盛で創造的能力が高く、生命科学・医科学分野の研究を希望する人
- 2 医学・医療の発展と人類福祉の向上に熱意を持つ人間性豊かな人
- 3 優れた倫理観と高い見識を有し、科学的研究を遂行できる人

目 次

平成27年度香川大学大学院医学系研究科（博士課程）学生募集要項

1 募 集 人 員	1
2 出 願 資 格	1
3 出 願 手 続	3
(1) 出願受付期間	3
(2) 出願書類等の提出方法	3
(3) 出願書類等の提出先	3
(4) 出願に要する書類等	4
(5) 障害を有する入学志願者との事前相談について	4
4 選 抜 方 法	5
(1) 学力検査及び面接	5
(2) 試 験 場	5
5 合 格 者 発 表	6
6 入 学 手 続	6
7 そ の 他	7
香川大学医学部案内図	8
香川大学医学部施設・建物配置図	9

大 学 院 案 内

1 目 的	10
2 組 織 構 成	10
中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム	11
3 専攻の概要並びに研究指導教員及び主たる授業科目	12
4 履修方法等	14
5 学位の授与	14
別表1（開設授業科目及び単位数）	15
別表2（がんプロフェッショナル養成コース）	19

平成 27 年 度

香川大学大学院医学系研究科（博士課程）学生募集要項

1 募 集 人 員 30人

募集人員には社会人特別選抜による募集人員若干名及び、がんプロフェッショナル養成コース（がん専門医養成コース8人、がん専門医療人（メディカルスタッフ）養成コース4人）を含みます。

専 攻	募 集 人 員
機 能 構 築 医 学	8人
分 子 情 報 制 御 医 学	18人
社 会 環 境 病 態 医 学	4人

入学時に、大学院、大学病院および連携病院にて、がん医療に携わる専門的な知識・技能を有する医師その他医療従事者の育成を行う、下記のコースを選択することができます。

※がん専門医養成コースを選択する場合には日本国の医師免許が、必要になります。

※がん専門医療人（メディカルスタッフ）養成コースを選択する場合は、分野に関する資格（薬剤師・看護師・診療放射線技師・管理栄養士等）が必要となります。

がんプロフェッショナル養成コース

- 1) がん専門医養成コース 8人
 - がん薬物療法分野
 - 腫瘍外科分野
 - 緩和ケア分野
 - 放射線治療分野
- 2) がん専門医療人（メディカルスタッフ）養成コース 4人
 - がん薬物療法分野
 - 緩和ケア分野
 - 放射線治療分野

2 出 願 資 格

(1) 一般選抜

- ① 大学の医学，歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成27年3月卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 文部科学大臣の指定した者及び平成27年3月までに指定した者に該当する見込みの者（2P（注）を参照）
- ⑥ 学校教育法第102条第2項に規定する者【注1】

- ⑦ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程）に入学した者であって，当該者をその後に入学者とする本大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑧ 本学大学院において，個別の入学者資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達したもの及び平成27年3月31日までに24歳に達するもの

【注1】出願資格⑥に該当する者は，平成27年3月末現在において，大学の医学，歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程に4年以上在学した者（外国において学校教育における16年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学の学部）を修了した者及び外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学の学部）を修了した者を含みます。）であって，本大学院が，所定の単位を優秀な成績で修得する見込みと認めた者です。

(2) 社会人特別選抜

上記(1)の出願資格のいずれかを有し，出願時に病院，研究所，官公庁等において医師，研究者等として勤務している者

(注) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）

ア 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学を履修し，これらの学部を卒業した者

イ 防衛省設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者及び平成26年3月卒業見込みの者

ウ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し，30単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者〔学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。〕で大学院又は専攻科において，大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

エ 大学（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し，又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において2年以上研究に従事した者で，大学院又は専攻科において，当該研究の成果等により，大学の医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの

出願資格審査について

出願資格の⑥，⑦，⑧及び⑤の注ウ又はエに該当する方は，一般選抜，又は社会人特別選抜を問わず事前審査が必要です。

綴じ込みの「出願資格調書：様式1」に下記の書類を添えて，平成26年6月27日（金）までに，本学へ提出して下さい。

○出願資格⑥に該当する者

- ・ 大学 4 年又は外国の学校教育における16年の課程修了（見込み）証明書
- ・ 成績証明書

○出願資格⑦に該当する者

- ・ 大学院の成績証明書

○出願資格⑧に該当する者

- ・ 最終学校の卒業証明書
- ・ 成績証明書
- ・ 入学資格個別審査調書（綴じ込みの「様式 2」）

○出願資格⑤のウ又はエに該当する者

- ・ 最終学校の卒業（見込み）証明書
- ・ 成績証明書
- ・ 博士（医学）の学位を取得する動機となった研究論文（写），学会発表（写）又は研究成果報告書〔様式適宜：800字以内〕

審査書類提出先

「3 出願手続」の(3) 出願書類等の提出先に同じ

審査結果について

出願資格審査の結果は，7月17日（木）付けで書面により本人に通知します。

この事前審査で出願資格が認められなかった場合には，出願することができません。

3 出 願 手 続

(1) 出願受付期間

平成26年 7月28日（月）から平成26年 8月 1日（金）まで

(2) 出願書類等の提出方法

ア 直接持参する場合の受付は，9時から17時までとします。

イ 郵送による場合は，所定の出願用封筒を使用し，出願書類等を一括して封入のうえ「速達・簡易書留」とし，8月 1日（金）17時までに必着するよう発送してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒761-0793 香川県木田郡三木町大字池戸1750-1

香川大学 医学部 学務室（入試担当）（医学部管理棟 1階）

(4) 出願に要する書類等（※印は本学所定の用紙及び封筒）

1	※入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したものを提出してください。
2	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したものを提出してください。 また、大学院修士課程修了（見込）者にあつては、当該研究科の長が作成し、厳封したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
3	卒業（修了）証 明 書 又は 卒業（修了）見込証明書	出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
4	検 定 料	30,000円 入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、平成26年7月18日（金）～平成26年8月1日（金）の間に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けて下さい。（注）通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので、注意してください。 なお、本学修士課程修了後引き続き博士課程に入学する者、及び国費外国人留学生は不要です。
5	※受 験 票 ※写 真 票	※印以外の所定の欄は、すべて明記してください。 出願以前6か月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真（縦4cm×横3cm）を受験票及び写真票の所定欄に貼付してください。
6	※受験票等送付用封筒	住所、氏名及び郵便番号を記入し、362円分の切手（速達料金）を貼付してください。
7	※あ て 名 票	本学所定の用紙に、合格通知書を受け取る際の住所、氏名及び郵便番号を記入してください。
8	住 民 票 の 写 し （日本国籍を有しない者のみ）	日本国籍を有しない者は、市区町村長が発行する住民票の写しを提出してください。

（注）入学願書の氏名と成績証明書・卒業（修了）証明書及び卒業（修了）見込証明書の氏名が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

(5) 障害を有する入学志願者との事前相談について

障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：平成26年6月27日（金）までとします。

相談の方法：申請書（様式自由、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る者との面談等を行います。

連絡先：香川大学医学部 学務室 大学院・入学試験係

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

T E L 087-891-2074

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害がある者については、申し出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせ下さい。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

4 選 抜 方 法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口頭試問）、面接の結果を総合して判定します。

(1) 学力検査及び面接

月 日	時 間	実 施 項 目	備 考
8月21日(木)	10:00～12:00	英 語	筆記試験 ※辞書持ち込み可 (英和辞典のみとし、電子辞書は不可)
	13:00～	志望専攻・部門関連領域	口頭試問又は筆記試験
		面 接	専攻別に行います。

(2) 試験場

香川大学医学部 香川県木田郡三木町大字池戸1750-1

※試験場へ自動車での入構はできません。

5 合格者発表

9月18日（木）9時頃医学部構内に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。また、本学のホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。（電話による照会には応じません。）

香川大学 URL：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

【注】：ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は医学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

6 入学手続

合格者は、平成27年3月26日（木）又は3月27日（金）に、入学手続を完了してください。入学手続場所は、香川大学研究交流棟〔幸町キャンパス（高松市幸町1番1号）内〕です。受付時間は、9時から17時までです。郵送する場合は、速達・簡易書留とし、3月27日（金）17時（必着）までに送付してください。所定の期間内に入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

- (1) 本学所定の誓約書、保証書 各1部
- (2) その他本研究科に必要な書類
- (3) 納付金

入 学 料 282,000円（予定）

ただし、本学修士課程修了後引き続き博士課程に入学する者、及び国費外国人留学生は、入学科は免除されます。

{	授 業 料 前期分	267,900円（予定）	}	【注】①
	(年額)	535,800円（予定）		

ただし、国費外国人留学生は不要です。

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、平成27年4月1日から平成27年4月30日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ・入学手続を行わなかった場合
- ・入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学手続を完了した場合であっても、大学(院)卒業(修了)見込みで出願した者が、平成27年3月31日までに卒業(修了)できなかった場合には、この入学手続が無効になります。

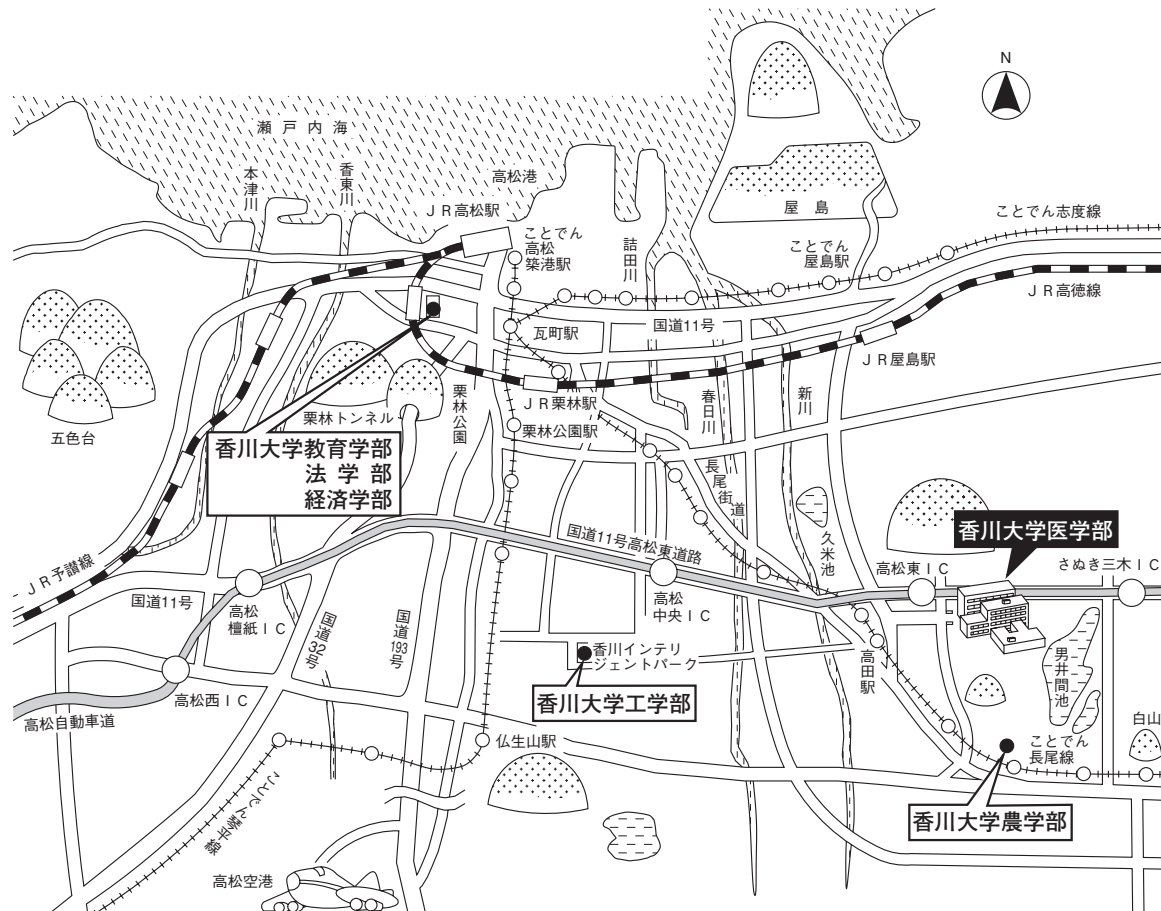
④ 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、平成27年4月1日付で入学したことになり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

7 そ の 他

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
 - (2) 出願書類受付後の書類の変更は認めません。また、いったん受理した出願書類は返還できません。
 - (3) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ※上記①又は②に該当される方は、香川大学入試グループ(電話(087)832-1182)へご連絡ください。
- (4) 出願しようとする者は、事前に志望する指導教員に必ず相談してください。
 - (5) 病院・会社等に勤務しながら入学する場合は、入学手続き時に「入学承諾書」（所定の用紙）を提出してください。
 - (6) 入学試験に関する照会は、下記あてに行ってください。

〒761-0793 香川県木田郡三木町大字池戸1750-1
香川大学 医学部 学務室（入試担当）
電話 (087) 891-2074

香川大学医学部案内図



- 電車とバス利用の場合** ことでん「高松築港」駅（ＪＲ「高松」駅から徒歩３分）から長尾線に乗りし、「高田」駅で下車。「高田」駅からバスで５分（ことでん「高松築港」駅から「高田」駅までの所要時間 電車約２５分・料金３５０円、「高田」駅から医学部までの所要時間 バス約５分・料金１６０円、徒歩の場合 約２５分）
- バス利用の場合** ＪＲ「高松」駅前⑦番乗り場から「高松医療センター・大学病院線」に乗り車（所要時間約４５分・料金６２０円）
- タクシー利用の場合** ＪＲ「高松」駅からの所要時間約３０分（約４,０００円）
- 航空機利用の場合** 高松空港から医学部までの直通の交通機関はありません。
リムジンバスで高松築港まで所要時間約４０分（７５０円）
医学部までタクシー利用の場合は所要時間約４０分（約５,０００円）

（時刻表）平成２６年４月１日現在

電車（長尾線）		バス（高松医療センター・大学病院線）	
高松築港駅発	ことでん高田駅着	ことでん高田駅発	大学病院着
７：０７	７：３３		
７：３２	７：５７	８：１５	８：２０
７：５４	８：２１		
８：２０	８：４５	９：００	９：０８
８：４３	９：０９		
９：０７	９：３１	９：４０	９：４８
９：２８	９：５２		

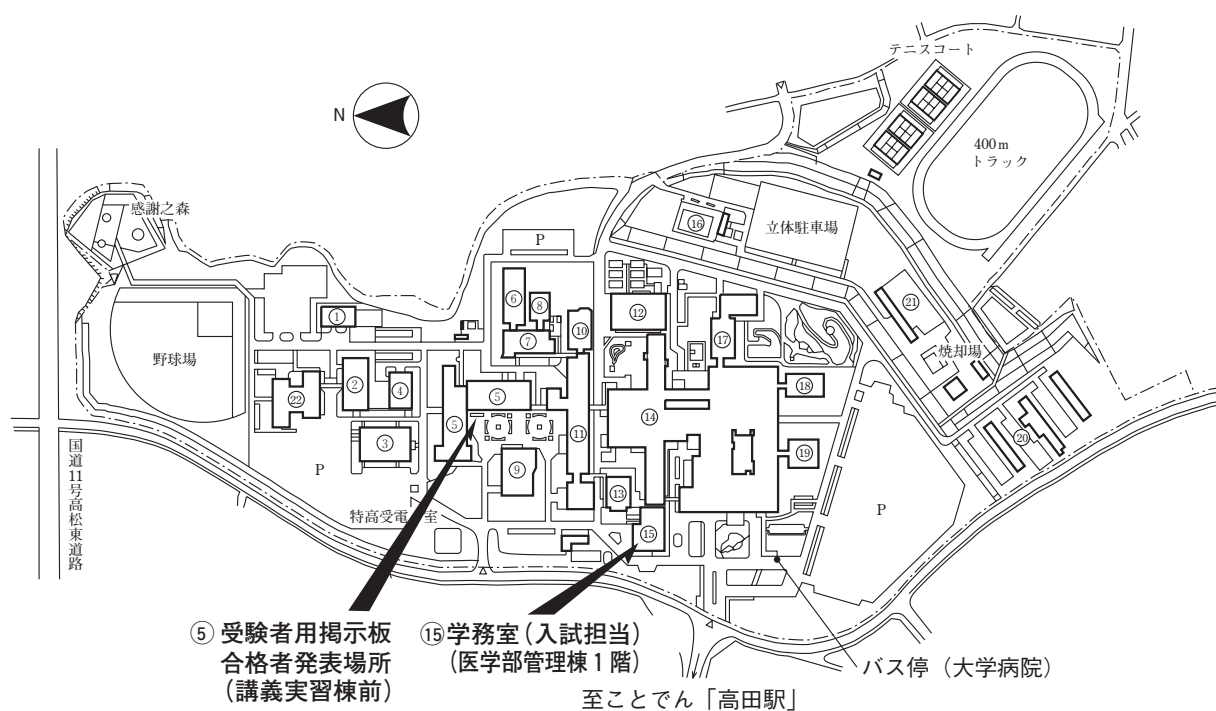
バス（高松医療センター・大学病院線）		
ＪＲ高松駅発	瓦町駅発	大学病院着
６：３５	６：４５	７：１５
７：２０	７：３０	８：０７
８：００	８：１０	８：５０
８：４０	８：５０	９：３０

高松琴平電気鉄道
（０８７）８３１-６００８

ことでんバス
（０８７）８２１-３０３３

（注）時刻表及び料金については、変更される場合がありますので、利用する場合には、あらかじめ各自で確認しておいてください。

香川大学医学部施設・建物配置図



配置図番号	名 称	配置図番号	名 称
①	武 道 館	⑫	中 央 機 械 室
②	医 学 部 会 館	⑬	臨 床 講 義 棟
③	体 育 館	⑭	附 属 病 院
④	食 堂	⑮	医 学 部 管 理 棟
⑤	講 義 実 習 棟	⑯	水 泳 プ ー ル
⑥	動 物 実 験 部 門	⑰	R I 診 療 施 設
⑦	R I ・ 動 物 実 験 部 門	⑱	高 エ ネ ル ギ ー 施 設
⑧	放 射 性 同 位 元 素 実 験 部 門	⑲	M R I - C T 装 置 棟
⑨	図 書 館 医 学 部 分 館	⑳	看 護 師 宿 舎
⑩	院 生 研 究 棟	㉑	廃 水 処 理 施 設
⑪	基 礎 臨 床 研 究 棟	㉒	看 護 学 科 教 育 研 究 棟

大 学 院 案 内

1 目 的

本学大学院医学系研究科（博士課程）は、医学の領域において、研究者として自立して独創的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えるとともに、人間性に対し深く思索する研究者を育成し、もって医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを目的としています。

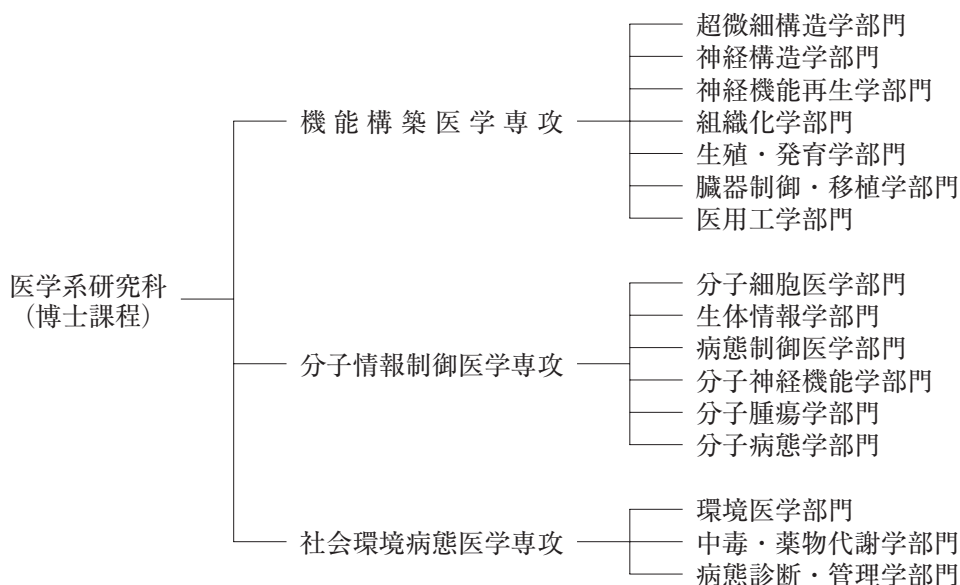
2 組 織 構 成

(1) 専攻・部門

医学系研究科（博士課程）の組織構成は、医学における高度の研究・教育機関として、複雑かつ多様化している社会的要請に柔軟に応え得るとともに、急激に進展し、高度化を遂げている現代医学のなお一層の発展に寄与し得るための合理的かつ能率的な形態を備えたものでなければなりません。

本学では、大学院の基礎となる医学部医学科において大講座制を導入しています。しかしながら大学院においては、更にこの大講座制の枠をも超えて、基礎医学、臨床基礎医学、社会医学及び臨床医学担当教員の有機的連携のもとに研究、教育を推進することが機能的であると考えます。

このような観点から、医学系研究科（博士課程）の専攻分野を3専攻16部門に編成し、各部門では当該研究分野に関与する複数の教員が共同して、教育と研究指導を担当することとしています。



(2) がんプロフェッショナル養成コース

大学院、大学病院および連携病院にて、がん医療に携わる専門的な知識・技能を有する医師その他医療従事者の育成を目指して、各職種が対等な立場で参加する臨床の現場で必要な研修項目を履修します。なお、下記のコースは専攻・部門に関係なく選択できます。

①がん専門医養成コース

がん教育・臨床研究の志向を有し、かつ、標準的がん医療に精通した多職種と連携してがん治療が行えるがん専門医の育成を目的として、他職種との協働を通じたチーム医療研修を行います。さらに研究方法論を学び、自ら臨床研究・基礎研究・トランスレーショナル・リサーチ、クリニカル・トライアルを行って、その成果により学位の取得を目指します。

②がん専門医療人養成コース

標準的がん医療に精通し、がん専門医と連携してがん治療が行えるがん専門医療人の育成を目的として、他職種との協働を通じたチーム医療研修を行います。さらに研究方法論を学び、自ら医学的な研究結果の解釈や評価を適切に行うためデータを統計学的に解析し、その成果により学位の取得を目指します。

※本コースは、次ページの「中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム」とリンクして履修をします。

中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラム ーチーム医療を担うがん専門医療人の育成ー

プログラム目的

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムとして、下記10大学が行うプログラムです。

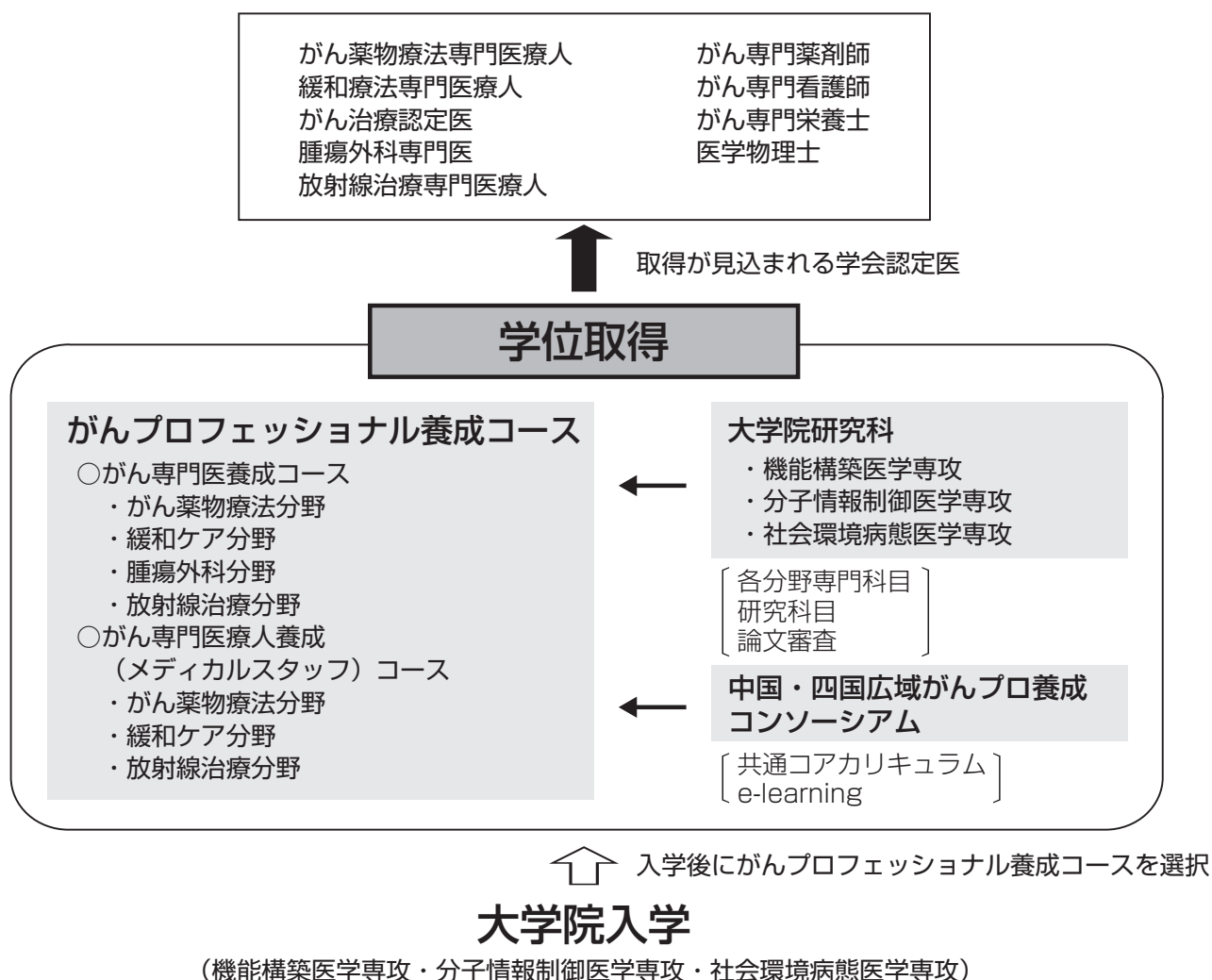
がん対策基本法の目的である中国・四国地方におけるがん治療の均てん化に資するため、中国・四国地方の10大学大学院とがん診療連携拠点病院が協力し、がん専門職医療人を養成します。

コンソーシアム参加10大学

岡山大学、愛媛大学、香川大学、川崎医科大学、高知大学、高知県立大学、徳島大学、徳島文理大学、広島大学、山口大学

プログラム概要

高度なレベルで標準化された共通コアカリキュラムおよびeラーニングによる域内統一カリキュラムによる教育（共育）と、大学間連携による優れた指導者による大学、分野、職種をこえた専門職連携教育（協育）、英語教育と海外先進施設との連携により国際的に活躍する人材の養成と、地域医療機関・患者会との連携による在宅高齢者がん医療に貢献する専門医療人の養成を特徴としています。



3 専攻の概要並びに研究指導教員及び主たる授業科目

(1) 共通科目

新しい構想に基づく大学院教育の中で、医学系研究科学生全員に各専攻をこえて、共通に、基本的な授業科目を講ずることは、教育効率をあげるのみでなく、伝統的大学院教育において欠落していた重要課題について講義し、質的向上を追求する大学院独特の授業科目です。

授業科目

総論講義

- I 研究総論
- II 研究ストラテジー
- III 実技指導セミナー

(2) 機能構築医学専攻

生体の発生、分化、増殖、反応、神経や感覚器における興奮伝達などの機構を分子、細胞、組織、臓器レベルにおいて形態学的、生理学的、生化学的、動力学的等多角的に研究をしています。また、腫瘍の発生やその増殖の制御も含めた病態の把握、疾病の機序や各種細胞の再生機構を総合的に考究する研究者を育成しています。

部 門	指 導 教 員	所 属	主 たる 授 業 科 目
超微細構造学	荒木 伸一	形態・機能医学	超微細機能形態学特論
神経構造学	三木 崇範	形態・機能医学	神経解剖学特論, 神経化学特論
	山本 融	形態・機能医学	実験てんかん学特論, 脊髄損傷疾患特論
神経機能再生学	田宮 隆	外 科 学	脳神経外科学特論
	未 定	耳鼻咽喉科学	神経耳科学
組織化学	上野 正樹	病理病態・生体防御医学	炎症学特論, 分子病理学, 免疫組織化学
	窪田 泰夫	内 科 学	皮膚病態機能概論, 皮膚アレルギー学
生殖・発育学	日下 隆	小 児 科 学	発達生物学特論
	秦 利之	母 子 科 学	生殖病理学特論, 生殖生理学・生殖病理学特論
臓器制御・移植学	下野 隆一	母 子 科 学	小児肝・胆道外科特論, 小児消化管機能特論
	堀井 泰浩	外 科 学	心臓血管外科学特論
	鈴木 康之	外 科 学	機能消化器外科学
	横見瀬裕保	外 科 学	呼吸器外科学特論, 臓器移植
	田中 嘉雄	外 科 学	形成外科学特論
医用工学	山本 哲司	外 科 学	運動機能学

※指導教員及び担当授業科目は変更することがあります。

(3) 分子情報制御医学専攻

生命現象や疾病の病態に関わる生体情報メカニズムの分子・細胞レベルでの解明を通じ、疾患モデル動物や人体など個体レベルで駆動する制御系への影響を明らかにすることで、疾病発症機構の解明や、その予防法・診断法・治療法などの創出に寄与する能力を有する研究者を育成します。

部 門	指 導 教 員	所 属	主 たる 授 業 科 目
分子細胞医学	徳田 雅明	形態・機能医学	希少糖の生理機能，神経細胞内シグナリング特論
	上田 夏生	生体分子医学	脂質代謝とその酵素反応機構
	和田 健司	生体分子医学	医用化学，精密合成化学
	神鳥 成弘	総合生命科学研究センター	構造生物学特論
生体情報学	平野 勝也	形態・機能医学	呼吸循環生理学
	中村 隆範	生体分子医学	内分泌学特論
	西 望	総合生命科学研究センター	糖鎖機能学
	西山 成	形態・機能医学	腎臓・循環器薬理学
	竹崎 直子	総合生命科学研究センター	生命情報解析学
	中北 慎一	総合生命科学研究センター	糖質化学
病態制御医学	未 定	内 科 学	血液病学、膠原病学
	河野 雅和	内 科 学	循環器病学
	正木 勉	内 科 学	消化器病学特論
	寛 善行	外 科 学	臨床内分泌学特論
	辻川 明孝	眼 科 学	眼科学特論
	村尾 孝児	先端医療・臨床検査医学	臨床栄養学
	黒田 泰弘	救急災害医学	救急災害・生体浸襲制御医学
	柴田 徹	放射線治療部	放射線生物学特論
	窪田 良次	地域包括医療学	老年医学特論
分子神経機能学	中村 祐	精神神経医学	生物学的精神医学
	白神豪太郎	麻 酔 学	臨床神経生理学
分子腫瘍学	今井田克己	病理病態・生体防御医学	発癌機構特論
	羽場 礼次	病 理 部	病理組織診断学，細胞診断学
	未 定	歯科口腔外科学	顎・口腔腫瘍学
分子病態学	星野 克明	病理病態・生体防御医学	細胞性免疫学特論
	新井 明治	病理病態・生体防御医学	医動物学特論
	桑原 知己	病理病態・生体防御医学	感染症病原因子の分子生物学
	宮下 信泉	総合生命科学研究センター	疾患モデル動物学・動物遺伝学

※指導教員及び担当授業科目は変更することがあります。

(4) 社会環境病態医学専攻

人の健康福祉水準（疾病を含む）と社会・環境は密接な関係を有していることから、環境医学的、中毒・薬物代謝学的、病態診断・管理学的見地より多角的で高水準な研究を行うとともに、地域社会における保健・医療・福祉の向上に寄与する実践的な研究者を育成しています。

部 門	指 導 教 員	所 属	主 たる 授 業 科 目
環 境 医 学	平尾 智広	人間社会環境医学	公衆衛生学
	宮武 伸行	人間社会環境医学	衛生学
中毒・薬物 代 謝 学	木下 博之	人間社会環境医学	中毒学特論
	芳地 一	薬 剤 部	薬毒物の動態学と代謝学
病態診断・ 管 理 学	西山 佳宏	放 射 線 医 学	放射線診断学特論, 放射能特論, 核医学特論
	未 定	総 合 診 療 部	地域医療学, 超音波医学特論
	横井 英人	医 療 情 報 部	医療情報学
	久富 信之	生 体 分 子 医 学	生体・環境計測学特論
	岡田 宏基	医 学 教 育 学	医学教育学

※指導教員及び担当授業科目は変更することがあります。

4 履 修 方 法 等

- (1) 修業年限は、4 年を標準とします。
- (2) 4 年間の修業年限を前期 2 年、後期 2 年に分け、各専攻に属する学生は、前期において共通科目 4 単位、所属部門の選択科目から 6 単位以上、所属専攻の選択科目（所属部門の授業科目として履修するものを除く。）から 20 単位以上（ただし、12 単位までは所属専攻以外の授業科目の単位をもって代替できます。）計 30 単位以上を履修し、広い視野に立って、自立して研究活動を推進するに必要な基礎となる学識と技術を修得します。
後期においては、研究指導教員のもとに、専門の研究課題について自発的な研究に従事し、研究者として自立して独創的な研究活動を行うに必要な高度な研究能力を備えます。
- (3) がんプロフェッショナル養成コースの学生は、上記（2）にかかわらず下記のとおり履修します。
がん専門医養成コース・がん専門医療人養成コース
共通科目 4 単位、共通コアカリキュラム 4 単位、がん専門共通科目 4 単位、各コースの専門科目 12 単位、臨床腫瘍専門研究科目（がん専門医療人コースは課題研究）6 単位、計 30 単位を履修します。
- (4) 医学系研究科（博士課程）における開設授業科目及び単位数は、別表 1、別表 2（がんプロフェッショナル養成コース）に掲げるとおりです。
- (5) 医学系研究科（博士課程）では、大学院設置基準第 14 条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に教育・研究指導を受けることができるように開講しています。

5 学位の授与

- (1) 学位は、博士（医学）とします。
- (2) 博士の学位は、大学院に 4 年以上在学し、授業科目について 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を 3 年以上とすることがあります。

別表 1 (開設授業科目及び単位数)

専攻	部門	授業科目	年次	必修			選択		
				講義	演習	実習	講義	演習	実習
共通科目		総論講義	1	4	0	0			
機能構築医学	超微細構造学	超微細機能形態学特論	1・2				2	2	2
	神経構造学	神経解剖学特論	1・2				2	2	2
		神経化学特論	1・2				2	2	2
		神経細胞生物学特論	1・2				4	2	0
		神経変性疾患学特論	1・2				4	2	0
		神経再生学	脳神経外科学特論	1・2				2	2
	脳卒中学特論		1・2				2	0	2
	臨床神経病学特論		1・2				2	2	2
	神経耳科学		1・2				1	1	2
	組織化学	バイオイメージング学	1・2				2	2	2
		分子神経病理学	1・2				2	2	2
		免疫組織化学	1・2				2	2	2
		皮膚病態機能概論	1・2				2	2	0
		皮膚アレルギー学	1・2				2	2	0
	生殖・発育学	生殖病理学特論	1・2				2	2	2
		生殖生理学・生殖病理学特論	1・2				1	0	1
		生殖生理学特論	1・2				0	1	1
		発達生物学特論	1・2				2	2	2
	臓器制御・移植学	消化器外科特論	1・2				1	1	0
		心臓血管外科学特論	1・2				1	1	0
		機能消化器外科学	1・2				1	1	1
		呼吸器外科学特論	1・2				2	2	0
		泌尿器科学特論	1・2				2	0	2
		形成外科学特論	1・2				1	1	1
		小児肝・胆道外科特論	1・2				2	0	0

機能構築医工学	臓器制御・移植学	小児消化管機能特論	1・2				2	0	0
		小児排便機能特論	1・2				2	0	0
		新生児外科特論	1・2				2	0	0
		臓器移植	1・2				1	1	0
		人工臓器学	1・2				1	0	2
		体外循環動態	1・2				1	1	0
	医用工学	生体力学	1・2				2	2	2
		運動機能学	1・2				1	1	1
		関節機能学	1・2				1	1	1
		人工臓器特論	1・2				1	1	0
		口腔インプラント学	1・2				1	1	0
		循環器ME学	1・2				2	0	0
		放射線ME学	1・2				2	0	0
		物理医学特論	1・2				1	1	0
	小計						66	45	36
分子情報制御医学	分子細胞医学	稀少糖の生理機能	1・2				2	1	1
		脂質代謝とその酵素反応機構	1・2				4	0	0
		脂質生化学特論	1・2				4	0	0
		酵素学特論	1・2				4	0	0
		構造生物学特論	1・2				4	4	0
		医用有機化学特特論	1・2				4	2	0
		医用分析化学特論	1・2				4	1	1
	生体情報学	臨床呼吸循環病態学	1・2				2	0	0
		呼吸循環生理学	1・2				4	0	0
		血液学特論	1・2				2	0	0
		血液細胞における細胞内情報伝達機構	1・2				1	1	0
		腎臓・循環器薬理学	1・2				1	1	1
		情報伝達と発現の機構	1・2				1	0	0
		内分泌学特論	1・2				2	2	2
		糖鎖機能学	1・2				1	1	0
		循環器疾患モデルと病態解析	1・2				1	1	1
		生命情報解析学	1・2				4	4	0
		循環薬理情報伝達機構	1・2				1	1	1
		糖質化学	1・2				2	0	0
		血液病学	1・2				2	2	2
		膠原病学	1・2				1	1	1

分 子 情 報 制 御 医 学	病 態 制 御 医 学	循 環 器 病 学 特 論	1・2				2	0	0
		循 環 器 病 学	1・2				2	2	0
		呼 吸 循 環 生 理 学	1・2				2	0	2
		肝 疾 患 特 論	1・2				2	0	1
		消 化 器 内 視 鏡 学 特 論	1・2				2	1	1
		腎 臓 病 学	1・2				1	1	0
		肝 ・ 膵 疾 患 特 論	1・2				1	2	3
		肝 ・ 胆 ・ 膵 外 科 学	1・2				1	1	0
		高 齡 者（老 年）消 化 器 外 科 学	1・2				1	1	0
		呼 吸 器 病 学	1・2				3	2	1
		消 化 器 病 学 特 論	1・2				1	1	0
		臨 床 内 分 泌 学 特 論	1・2				2	1	0
		臨 床 免 疫 学 特 論	1・2				2	2	0
		栄 養 代 謝 学	1・2				2	2	0
		臨 床 栄 養 学	1・2				4	0	0
		眼 科 学 特 論	1・2				4	0	0
		骨 軟 部 腫 瘍 学	1・2				2	2	2
		救 急 災 害 ・ 生 体 浸 襲 制 御 医 学	1・2				2	0	0
		救 急 災 害 医 学 特 論	1・2				2	2	2
		神 經 集 中 治 療 医 学	1・2				2	2	0
	医 学	放 射 線 生 物 学 特 論	1・2				2	1	1
		放 射 線 腫 瘍 学 特 論	1・2				2	1	1
		血 液 凝 固 学	1・2				2	0	0
		老 年 医 学 特 論	1・2				2	0	1
	機 能 学	生 物 学 的 精 神 医 学	1・2				2	1	1
		神 經 細 胞 の 可 塑 性 と シ グ ナ リ ン グ 特 論	1・2				2	1	1
		臨 床 神 經 生 理 学	1・2				4	0	0
	分 子 腫 瘍 学	発 癌 機 構 特 論	1・2				2	0	0
		腫 瘍 制 御 概 論	1・2				1	1	1
		病 理 組 織 診 断 学	1・2				1	1	1
		細 胞 診 断 学	1・2				1	1	1
		婦 人 科 細 胞 診 断 学	1・2				1	0	1
		造 血 器 腫 瘍 制 御 論	1・2				2	0	0
		腫 瘍 宿 主 相 関 概 論	1・2				1	1	0
		消 化 器 腫 瘍 学 特 論	1・2				2	1	1
		呼 吸 器 腫 瘍 学	1・2				3	3	0
		女 性 性 器 腫 瘍 学	1・2				1	0	1
		頭 頸 部 腫 瘍 学 特 論	1・2				1	0	1
		顎 ・ 口 腔 腫 瘍 学	1・2				2	1	1
		緩 和 医 療 学	1・2				1	1	0
	分 子 病 態 学	細 胞 性 免 疫 学 特 論	1・2				1	0	1
		生 体 防 御 医 学	1・2				1	0	1
		感 染 症 病 原 因 子 の 分 子 生 物 学	1・2				2	2	0
		医 動 物 学 特 論	1・2				1	0	1

		実験動物学・動物遺伝学	1・2				2	0	2
		小計					133	60	40
社会環境医学	環境	疫学・予防医学	1・2				1	1	2
		健康政策論	1・2				1	1	0
		医療政策論	1・2				1	1	0
		社会環境医学	1・2				1	1	0
		病院管理学	1・2				1	1	0
	医学	医療テクノロジーアセスメント	1・2				1	1	0
		健康測定法	1・2				1	0	1
		生活習慣病予防論	1・2				1	0	1
		社会・文化医学	1・2				2	0	2
	中毒・薬物代謝学	法医学特論	1・2				1	2	1
		薬毒物の動態学と代謝学	1・2				1	1	1
		薬物生体情報学特論	1・2				1	1	1
		臨床薬理学	1・2				2	0	0
		発達薬理とHPLC	1・2				2	0	1
	病態診断	放射線診断学特論	1・2				2	0	2
		放射線腫瘍制御論	1・2				2	2	0
		核医学特論	1・2				1	0	1
		核医学情報学	1・2				1	0	1
		放射線科学	1・2				2	2	0
		放射能特論	1・2				1	1	0
		近赤外光生体計測学	1・2				2	0	2
		生体管理学	1・2				2	2	2
		循環器画像診断学	1・2				2	0	0
		地域医療学	1・2				2	0	0
	医学管理	超音波医学特論	1・2				4	0	0
		総合診療医学総論	1・2				2	0	0
		動態解析と機能画像計算	1・2				2	2	0
		生体機能診断学	1・2				2	0	0
		医療コミュニケーション学	1・2				2	0	0
		超音波医学	1・2				4	2	0
		医療情報学	1・2				2	2	2
		臨床医用工学	1・2				2	2	0
		心身医学概論	1・2				2	0	0
		災害医療・災害医学	1・2				2	1	1
		小計					58	26	21
		合計		4	0	0	257	131	97

別表2 (がんプロフェッショナル養成コース)

専攻	コース			授業科目	年次	必修	選択		
							講義	演習	実習
機能構築医学・分子情報制御医学・社会環境病態医学	がんプロフェッショナル養成コース	共通科目	総論講義	医学系大学院総論	1	4			
			小計				4		
		共通コアカリキュラム	研究方法論応用	1	1				
			悪性腫瘍の管理と治療	1	1				
			医療倫理学・医療経済学	1	0.5				
			医療対話学(コミュニケーションスキル)	1	0.5				
			がんチーム医療実習	1	0.5				
			医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1	0.5				
		小計				4			
		がん専門共通科目	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2	1				
			臨床検査・病理・放射線診断学	2	0.5				
			臓器別がん治療各論	2	2				
			がん緩和治療	2	0.5				
		小計				4			
	専門医養成コース	がん薬物療法専門科目	臨床腫瘍学実習	1～4	10				
			課題研究演習	1～4	2				
		小計				12			
		緩和ケア専門科目	臨床腫瘍学実習	1～4	10				
			課題研究演習	1～4	2				
		小計				12			
		腫瘍外科専門科目	臨床腫瘍学実習	1～4	10				
			課題研究演習	1～4	2				
		小計				12			
		放射線治療専門科目	臨床腫瘍学実習	1～4	10				
			課題研究演習	1～4	2				
		小計				12			
	臨床腫瘍専門研究科目		専門研究	1～4	6				
	小計				6				
	専門医療人養成コース	がん薬物療法専門科目	臨床薬理学特論	1～4	2				
			がん薬物療法実技演習	1～4	10				
		小計				12			
		緩和ケア専門科目	緩和ケア学特論	1～4	2				
			緩和ケア実技演習	1～4	10				
		小計				12			
		放射線治療専門科目	放射線学特論	1～4	2				
			放射線治療実技演習	1～4	10				
		小計				12			
課題研究		課題研究		6					
		小計				6			
選択科目		別表1のとおり		108	227	118	86		
合計							227	118	86
備考 各コースの学生は、指導教員の指導を受け、次のとおり履修するものとする。									
(1) がん専門医養成コースについては、必修科目の共通科目（総論講義）4単位、共通コアカリキュラム4単位、がん専門共通科目4単位、各分野専門科目12単位及び臨床腫瘍専門研究科目6単位、計30単位									
(2) がん専門医療人養成コースについては、必修科目の共通科目（総論講義）4単位、共通コアカリキュラム4単位、がん専門共通科目4単位、各分野専門科目12単位及び課題研究6単位、計30単位									

平成 27 年 度
香川大学大学院医学系研究科(博士課程) 入学志願票

1 一 般 選 抜 (上記のいずれかを選択し，番号に○を付けてください。)		2 社会人特別選抜		受験番号		※	
フリガナ				性		男・女	
氏 名				別		女	
生 年 月 日		昭和・平成 年 月 日生		年 齢		歳	
志 望 す る 専 攻 ・ 部 門 及び指導教員		第 1 志 望		専 攻 部 門		指 導 教 員	
		第 2 志 望		専 攻 部 門		指 導 教 員	
出 願 資 格		昭和 年 月 日 平成 年 月 日		学 部		学 科	
		昭和 年 月 日 平成 年 月 日		大学大学院		研究科 専 攻	
卒 業 卒業見込 年在学中							
課 程 修 了 修了見込							
フリガナ 現 住 所		〒 □ □ □ - □ □ □ □					
		電話番号 () -					
フリガナ 試 験 ・ 入 学 等 に 関 す る 通 知 場 所		〒 □ □ □ - □ □ □ □					
		電話番号 () -					

記入上の注意

- 青又は黒のインクを使用し，楷書で記入してください。
- 現住所は詳細に記入してください（間借等の場合は何某方まで記入してください）。
- 履歴事項は裏面に記入してください。
- ※印は記入しないでください。

＊出願書類に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続きを行うために利用します。また同個人情報，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等）及び入学科・授業料に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

区 分 コード	3870 0
------------	--------

受付金融機関 出納印	1
---------------	---

※金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行は除く。）の出納印のない場合は無効となります。

平成 27 年 度 ☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜			
香川大学大学院医学系研究科（博士課程）			
受 験 票			
受 験 番 号		※	
フリガナ 氏 名		男・女 年 月 日生	
志 望 す る 専 攻 ・ 部 門		第 1 志 望	専 攻 部 門
		第 2 志 望	専 攻 部 門
写真貼付欄 (注意) 出願以前 6 か月以内に撮影した 正面向き上半身無帽の写真（縦 4 cm×横 3 cm） を貼付してください。			

- (注) 1 ※印欄は記入しないでください。
2 この受験票は机上左上に提示しておいてください。
3 この受験票を紛失した場合は，直ちに届け出てください。

（切り取らないでください。）

平成 27 年 度 ☐ 一般選抜 ☐ 社会人特別選抜			
香川大学大学院医学系研究科（博士課程）			
写 真 票			
受 験 番 号		※	
フリガナ 氏 名		男・女 年 月 日生	
志 望 す る 専 攻 ・ 部 門		第 1 志 望	専 攻 部 門
		第 2 志 望	専 攻 部 門
写真貼付欄 (注意) 出願以前 6 か月以内に撮影した 正面向き上半身無帽の写真（縦 4 cm×横 3 cm） を貼付してください。			

(注) ※印欄は記入しないでください。

香川大学

金融機関で切り離してください。

受験者保管用（大切に保管してください。）		香 川 大 学 検定料 振込依頼書（入金票）		(受付金融機関保管用)	
電信扱		香川大学		香川大学	
2015年度		検定料 領収書		【志願者の方へお願い】 1. 郵便局・ゆうちょ銀行を除く金融機関から振り込んでください（ＡＴＭからの振込は不可）。 2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたもの、金融機関の出納印のないものは無効となります。	
振込金額 (検定料)		振込先銀行（○で囲む。）		振込受付期間 平成26年 7 月18日(金)～平成26年 8 月 1 日(金)	
振込先銀行（○で囲む。）		預金種別		口座番号	
① 百十四銀行 本店		普通預金		2785280	
② 香川銀行 本店		普通預金		2155989	
③ 三菱東京UFJ銀行 高松中央支店		普通預金		0547300	
受 取 人		国立大学法人香川大学		金額	
区分コード		3870 0		千 百 十 万 千 百 十 円	
フリガナ		志願者氏名 NAME		手 数 料	
1. 金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の出納印のない場合は無効となります。		2. 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたものは無効となります。		手数料ご依頼人負担	
受付金融機関 出納印		印 紙		3	

入 学 承 諾 書

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

所属(長)職名

氏 名

㊞

下記の者が，香川大学大学院医学系研究科（博士課程）に入学した場合は，大学院設置基準第 14 条（※）特例の適用により，在職したまま在学することを認めます。

記

（入学予定者）

所属・職名

氏 名

（※）大学院設置基準第 14 条

「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」

出願資格調書

フリガナ				性別	男・女
氏名					
生年月日	昭和・平成 年 月 日生			年齢	歳
志望する専攻・部門及び指導教員	第1志望	専攻	指導教員		
		部門			
	第2志望	専攻	指導教員		
		部門			
出願資格 1 第⑥号によるもの 2 第⑦号によるもの 3 第⑧号によるもの 4 第⑤号のウ又はエによるもの 該当する項の番号に○をしてください	昭和 平成 年 月 日 大学 学部 学科 年在学中 卒業（修了）				
履歴事項 (学歴：日本の高等学校卒業者については高等学校卒業からの学歴を、それ以外の者はすべての学歴を記入してください。) (職歴：特に医学研究を志す動機となったものを記入してください。)	区分	年 月 日	事 項		
	学歴	年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
	職歴	年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
		年 月 日			
年 月 日					
フリガナ 現住所	〒				
	電話番号	() -			

入学資格個別審査調書

1 氏 名

2 生年月日

3 免許・資格

4 博士（医学）の学位取得を希望する動機となった研究歴等を記入してください。

研究業績について、専門雑誌に発表した業績があればその別刷又はコピーを添付してください。
業績が多数ある場合は業績目録を作成してください。その場合申請者の名前に下線を引いてください。

注 1) 適宜の様式（A 4 サイズ）で別途作成してもかまいません。

2) 業績目録の作成方法

著書〔題名、著者名（全員を記入）、編者名、書名、版、発行場所、発行所、発行年、頁の順に記入してください。〕

論文〔題名、著者名（全員を記入）、誌名、巻、発行年、頁の順に記入してください。〕

あ て 名 票

- (注) 1 合格通知，入学手続書類等及び入学式等に関する通知用です
ので，確実な受信先を記入してください。
- 2 住所は必ず番地まで正確に記入してください。
- 3 住所がアパート，団地の場合は，必ずアパート名又は団地名まで記入してください。
- 4 ※印欄は記入しないでください。
- 5 出願書類等と一緒に提出してください。

合格通知を受け取る宛先を記入してください。

□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

(住所)

(志願者の氏名)

様

(電話番号)

(受験番号) ※

平成27年2月上旬頃に入学手続書類等を受け取る宛先を記入してください。

□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

(住所)

(志願者の氏名)

様

(電話番号)

(受験番号) ※